

関西経理専門学校 2026年度 講義要項

科目名			学年	担当講師名		開講期間							
会計学Ⅰ・Ⅱ			1 年	小川 宗彦		前期	Ⅰ	後期	Ⅱ				
講義の目的および概要													
簿記検定は上級になるほど会計の知識が必要になります。そこで、会計学の基礎についてまず理解するとともに、それを踏まえてグローバル化した大企業(企業集団)における現代会計の制度について理解し、その会計処理の基準と処理技術について、練習問題を織り交ぜながら学習し、簿記検定の上級や税理士・公認会計士等の資格試験の合格を目指します。													
講義のテーマ													
前期：Ⅰ簿記会計の基本構造、Ⅱ、損益計算書の構造と処理、Ⅲ貸借対照表の構造と処理、Ⅳ 現代会計制度と会計基準 後期：Ⅰ連結財務諸表の構造と処理、Ⅱ現代会計の応用領域、Ⅲ現代会計と混合測定、Ⅳ現代会計の適用													
月	授業展開・ライセンス取得および指導要領								形式				
4	簿記会計の基本構造と現代会計制度								講義				
5	損益計算書の本質と構造 収益・費用の会計								講義				
6	貸借対照表の本質と構造 資産の会計								講義				
7	負債・純資産の会計・株主資本等変動計算書 企業会計原則と会計基準、前期試験								講義				
8	夏期休暇								講義				
9	現代会計の基本構造、財務諸表と連結財務諸表 セグメント会計、キャッシュ・フロー計算書								講義				
10	税効果会計・外貨換算会計 金融商品会計								講義				
11	リース会計・減損会計・退職給付会計 資産除去債務会計								講義				
12	新会計基準、経営分析								講義				
1	総合問題演習 後期試験								講義				
2													
3													
評定方法													
出席		30 %		定期試験		30 %							
レポート		30 %		その他		10 %							
使用テキスト・参考図書など													
・『財務会計の基本』登川雄太 著(日本実業出版社) ・ビジネス・アカウティング 第5版 中央経済社													
学習上の留意点													
・日本経済新聞から会計、経営戦略に関するトピックを取り上げ、経営者視点、投資家視点、債権者視点のそれぞれの立場で考える力を身につける。また、講義では会計学を超えて経営学の要素を取り入れるため、生成AIの活用、エクセル等の幅広い知識を習得されたい。 担当教員は、税理士・行政書士として会計事務所を経営する傍ら、神戸大学大学院経営学研究科の研究生として知的資産経営や会計学の研究を行う。豊富な実務経験と最新の経営理論を融合させ。中小企業の強みを生かす実践的な経営サポートを追及している。													
授業担当者の実務経験について(実務家教員への該当有無)							該当						
学則分類上の科目名称と認定単位数													
教養一般		経営学		簿記		会計学		税法		法学		PC実習	
前期		前期		前期		前期	1単位	前期		前期		前期	
後期		後期		後期		後期	1単位	後期		後期		後期	